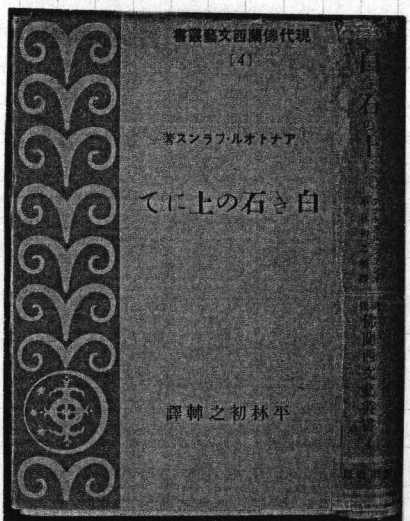


平林初之輔 ひらばやし 文藝評論家、小説家。明治二十五年十一月八日京都生れ、昭和八年六月十五日没（八九二—九三二）。筆名初之輔、平林、平林冷潮、平林初、平林初之助、平林生、平林白花、平林露水、平林颯健、日・日生等。大正六年早稻田大學英文科卒。十年青野季吉、市川正一等と雑誌『無産階級』を發行し、第一次共産黨の入党。十二年早大佛文科講師、翌年『文藝叢報』創刊同人、十五年博文館の『太陽』編輯を幹。パリで客死。

著書『科學概論』（大正十一年四月二十日春秋社「新學藝講座」）、『社會思潮十講—建設者何謂講演集』（合著・平野力三編、大正十一年六月十日同人社書店）、『日本自由主義發達史』（大正十二年二月二十日世界思潮研究會「世界パンフレット通信」）、『日本自由主義發達史』（大正十二年四月二十日日本評論社出版部）、『ヤナトオレ・フランス作』、『白石の上へ』（譯、大正十二年五月二十日新潮社「現代佛蘭西文藝叢書」）、『サアシヤ・ギトリエ作』、『ペランジエ』（譯、大正十二年十一月八日新潮社「海外文藝新選」）、『ダンテ作』、『新生』（譯、大正十二年十一月十日文明書院）、『ゆかり』（合著・親佛文藝會編、大正十二年十一月二十日改造社）、『ジャン・ジャック・ルソー著』、『民約論』（譯、大正十四年

二月二十七日人文會出版部「世界名著叢書」。再刊、昭和二年十一月十日岩波書店「岩波文庫」）、『ピエール・デュルベ著』、『科學と實在』（譯、大正十四年九月十五日叢文閣「ラッテ



マリオン社自然科學叢書」)、  
「創作探偵小説選集・第二輯(一九一七年版)」(合著・探偵趣味の會)平井太郎編、昭和二年一月一日春陽堂)、  
「ポアンカレ著 科學者と詩人」(譯、昭和二年六月十日岩波書店「岩波文庫」)、  
「ハガード作 洞窟の女王」(譯、昭和二年七月二日改造社「世界大衆文藝全集」)、  
「ルソオ著 ヨエミイユ」全五冊(譯、第一篇・昭和二年十一月十五日、第二篇・四年十月二十五日、第三篇・五年七月十日、第四篇・七年九月二十五日、第五篇・八年二月十日岩波書店「岩波文庫」)、  
「プロレタリア藝術教程・第一輯」(合著・饒正名智太郎編、昭和四年七月一日世界社)、  
「文學理論の諸問題」(昭和四年九月二十一日千倉書房)、  
「平林初之輔集」(橋本五郎集)  
「昭和四年十月二日改造社「日本探偵小説全集」)、  
「近世社會思想講話」(昭和四年十一月二十一日千倉書房)、  
「コエドガヤ・ポオ集」(譯、昭和四年十一月二十一日博文館「世界探偵小説全集」)、  
「バンダイン作『カナリヤ殺人事件』」(譯、昭和五年一月十五日平凡社「世界探偵小説全集」)、  
「藝術とマルクス主義」(合著・プロレタリア科學研究所所編、昭和五年二月十五日プロレタリア科學研究所、鐵路書院發賣)、  
「カルヴァートン作『不思議は戀人・革命の娘』」(譯、昭和六年六月五日新潮社)、  
「現代デヤーナリズムの理論と動向」(合著、昭和六年十一月十五日内外社)、  
「平林初之輔遺稿集」(平林駒子・林植木編、昭和七年二月十一日平凡社)等。